

北海道浮魚ニュース

平成 25(2013)年度 4 号

2013 年 6 月 14 日

道総研水産研究本部

釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎道東太平洋スルメイカ資源調査結果

- ・ スルメイカの分布密度は前年並みで低い。
- ・ 体サイズは前年より大きい。

調査期間：2013 年 6 月 3～9 日

調査海域：道東太平洋（北緯 41 度ライン周辺の 7 調査点）

調査船：北辰丸（釧路水産試験場所属），イカ釣機 6 台装備

1. 水温分布（図 1）

調査点の表面水温は 9.4～14.5℃で、前年（9.2～14.1℃）並みでした。50m 深の水温は、3.6～12.8℃で、前年（2.4～10.3℃）よりもやや高めでした。調査海域の一番西側の調査点が表面水温が 9℃台と最も低くなっていました。

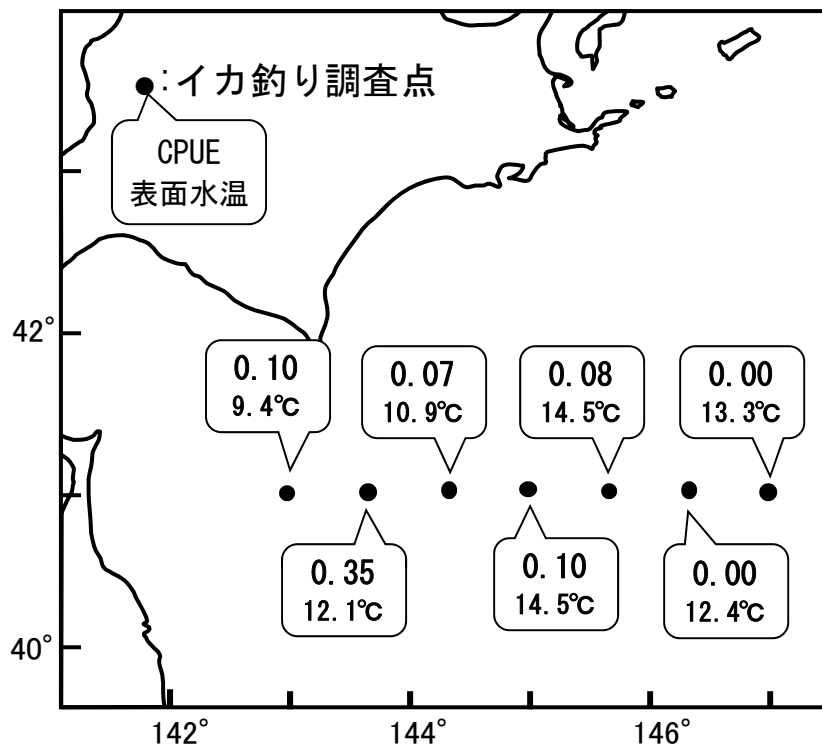


図 1 2013 年 6 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と表面水温
※分布密度は CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) で示した。

2. 分布と分布密度（図 1, 図 2）

7 調査点でスルメイカの分布密度を調べた結果、分布密度（CPUE：イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数）は 0.00～0.35 でした（図 1）。スルメイカは 5 調査点で漁獲されましたが、いずれも低い値でした。7 調査点の平均 CPUE は 0.10 で、前年（0.10）と同じで、1993 年以降では 3 番目に低い値でした（図 2）。

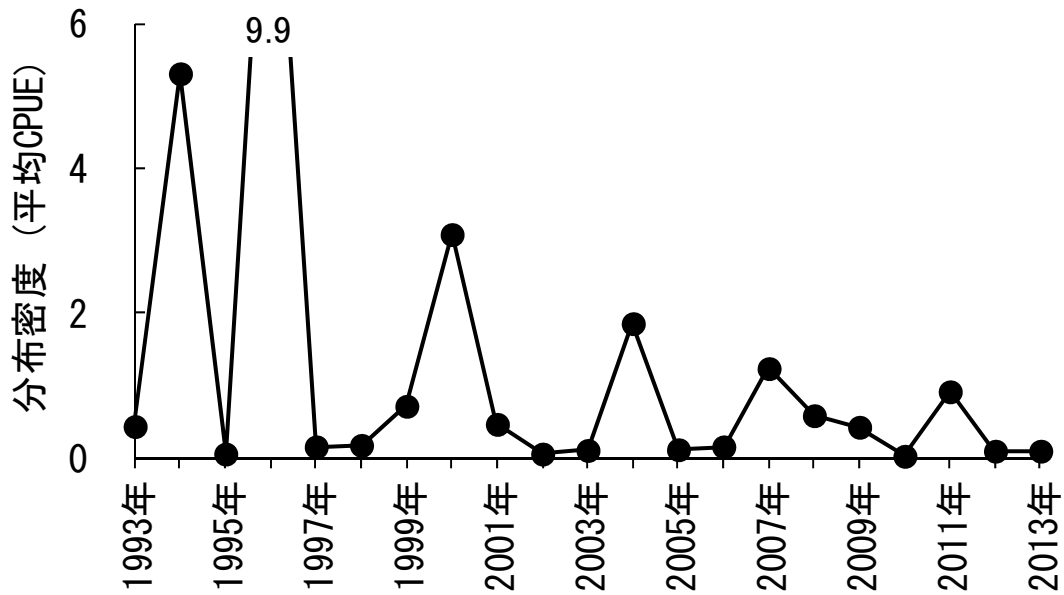


図2 スルメイカの分布密度の経年変化
 ※各年の分布密度は全調査点のCPUEの平均で示した。

3. スルメイカの大きさ (図3)

スルメイカの外套長 (胴長) のモード (最も多く漁獲されたイカの大きさ) は 16 cmで、前年 (10 cm) より大きく、範囲は 5~16cm でした。

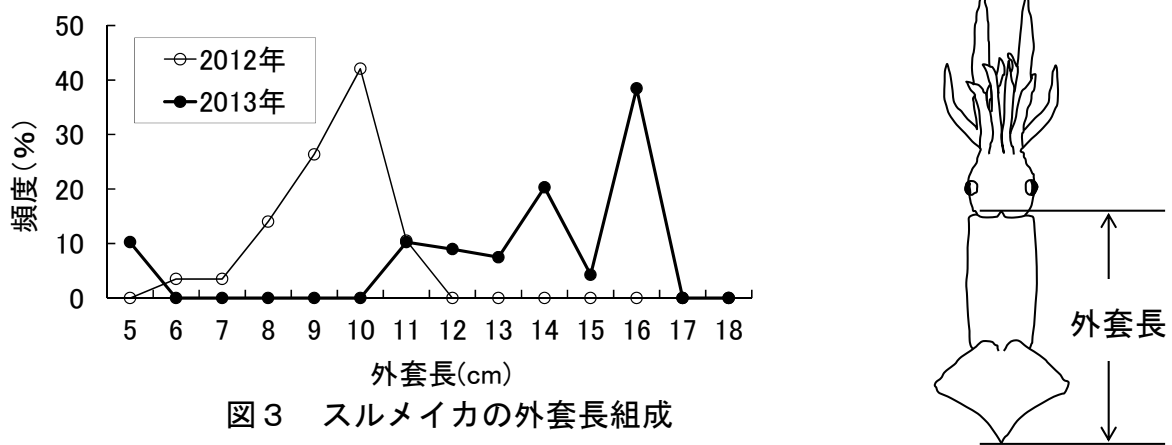


図3 スルメイカの外套長組成

表1 2008~2013年のスルメイカ調査結果

調査日程	調査点数	漁獲尾数	平均CPUE	外套長組成	
				範囲(cm)	モード(cm)
2008年 6/10-17	7	199	0.59	7-15	13
2009年 6/9-17	8	165	0.43	10-17	14
2010年 6/7-14	7	8	0.03	13-16	15
2011年 6/7-14	7	268	0.92	6-19	16
2012年 6/9-16	7	29	0.10	6-11	10
2013年 6/3-10	7	15	0.10	5-16	16

(釧路水産試験場 調査研究部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)